

第8回塗装研究室「コロニアル屋根用下塗材の商品別比較」

【目的】

各メーカーよりコロニアル屋根塗替え時の下塗り材が出されているが、実際に各商品を傷んだコロニアルに塗布し、その仕上がり感を比較する。

【対象材料】

- ① スズカファイン「ベスコロファイラーHG」
- ② 大日本塗料「マイティー万能エポシーラー」
- ③ 日本特殊塗料「エポラワイドプライマー」
- ④ 日本ペイント「ファイン浸透シーラー」
- ⑤ 日本ペイント「ファイン浸透造膜シーラー」

※上塗り塗料は、大日本塗料のシリコンルーベン二液 EXTRA/コーヒーブラウンを使用

商品名	スズカファイン ベスコロファイラーHG	大日本塗料 マイティー万能エポシーラー	日本特殊塗料 エポラワイドプライマー	日本ペイント ファイン浸透シーラー	日本ペイント ファイン浸透造膜シーラー
色	白/グレー	クリヤー	グレー	透明	茶褐色
容量	20K	15Kセット	16Kセット	15Kセット	15Kセット
塗布量	0.20~0.50K/m ²	0.10K/m ²	0.13~0.16K/m ²	0.15~0.30K/m ²	0.16~0.20K/m ²
希釈率	0~10%	30~50%	0~6%	無希釈	無希釈
塗装 間隔	(23℃)	16h~7日	12h~72h	4h~5日	4h~7日
	(5℃)	16h以上	48h~14日	6h~7日	8h~7日
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・1液水性珪酸系シーラース ファイラー ・厚膜タイプ ・スレート瓦、セメント瓦専用下 塗り材 	<ul style="list-style-type: none"> ・弱溶剤型 2液エポキシ樹 脂シーラー ・色はクリヤー（浸透タイプ） と白（造膜タイプ）あり ・コンクリートやガルバリウムなど 各種下地に適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・弱溶剤型 2液変性エポ キシ樹脂プライマー ・セメント瓦、コロニアルの他、金 属下地にも幅広く使用 可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターペン可溶 2液型エポキシ 樹脂シーラー ・色はクリヤー（浸透タイプ） と白（造膜タイプ）あり ・コンクリートや木部など各種 下地に適用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターペン可溶 2液型浸透 造膜エポキシ樹脂シーラー ・吸込みの激しいスタッコ、 モルタル内外壁面の下塗り にも使用可能

【試験方法】

試験体に劣化したコロニアル板を用い、その上に対象材料5種を塗布し、24時間乾燥させた。その後、各試験体の右側半分にもう一度各種塗料を塗布（2度塗での状況を見るため）。24時間乾燥後、上塗り塗料のシリコンルーベン二液 EXTRA を塗布。乾燥後、仕上がり感を比較する。

※対象材料5種は、最小の希釈率で希釈。

※上塗り塗料シリコンルーベン二液 EXTRA は、5%希釈にて塗布。

※全てローラー塗装にて、使用したローラーは、大塚刷毛マイクロエース 13mm を使用。

※今回は下塗りの効果の確認のため、上塗りは1回塗でテストを行う。

【試験開始】

2017.08.02 対象材料を塗布

塗装前：下記のように劣化したコロニアル板を使用

(全体画像)



(アップ画像)



下塗り塗装中：対象材料 5 種類を塗布

(バスコロフィラーHG 塗布)



(マティ万能ボールシーラー塗布)

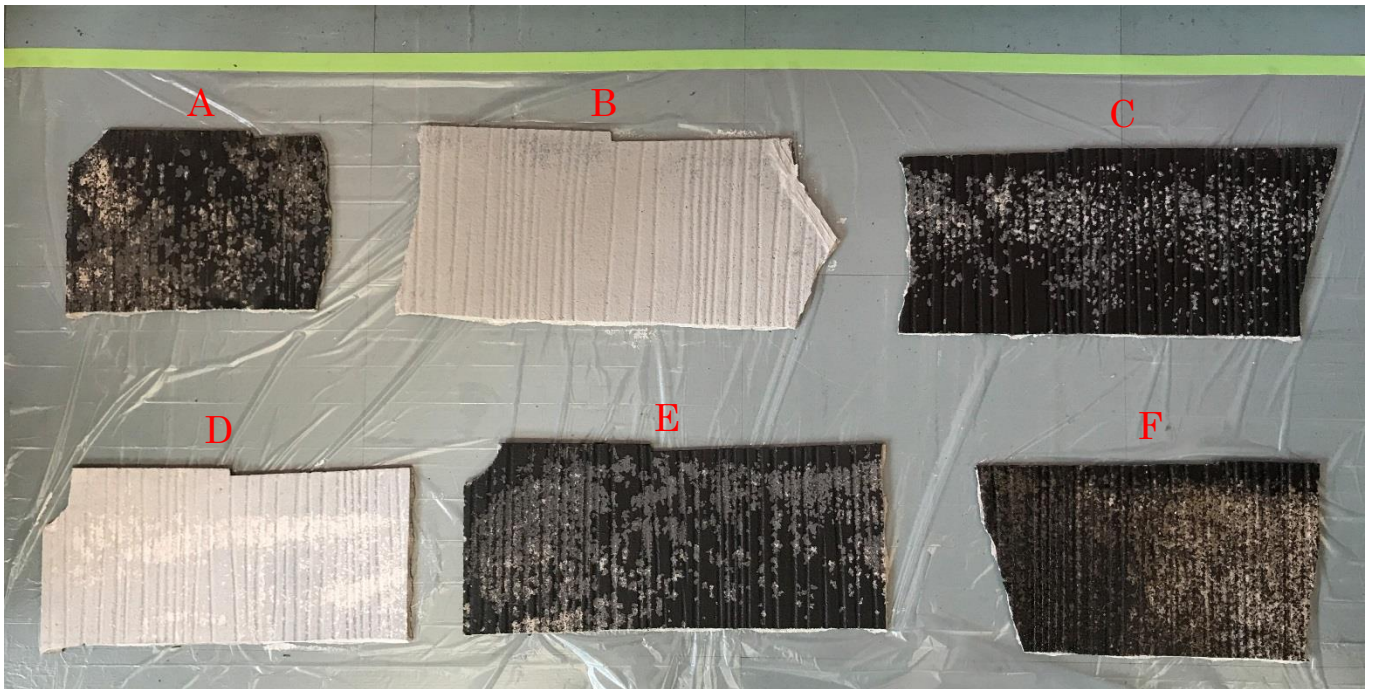


(ファイン浸透造膜シーラー塗布)

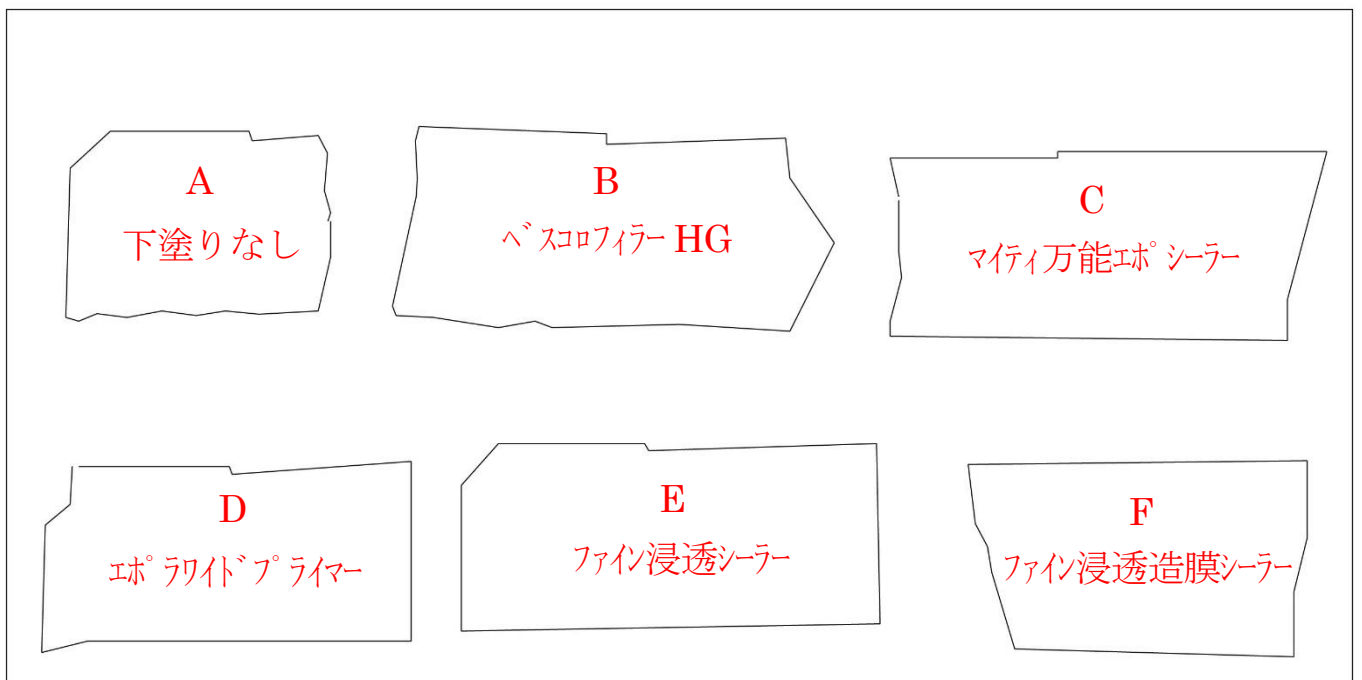


塗装後

(全体画像)



(6つのエリア分け詳細)



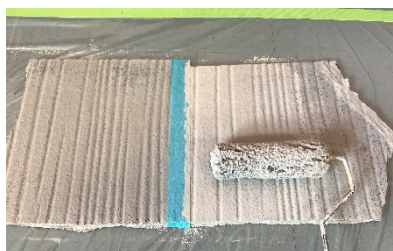
塗装した感想は、施工性に関してはどの商品もそう変わりはないが、浸透性タイプのマイティ万能シーラーとファイン浸透シーラーについては、塗装直後は塗れ色で塗った感じがわかるが、数分後には塗材が吸い込んでしまい、塗る前と同じ見た目になってしまう。塗忘れなどには注意が必要かも。

2017.08.03 対象商品(2度目)を塗布

BからFの試験体の右側半分に、各対象商品を再度塗布

施工中

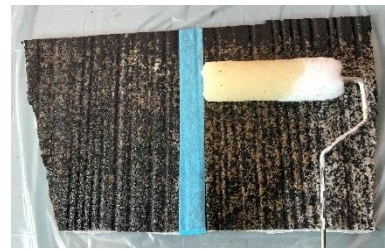
(ベスコロフィラーHG)



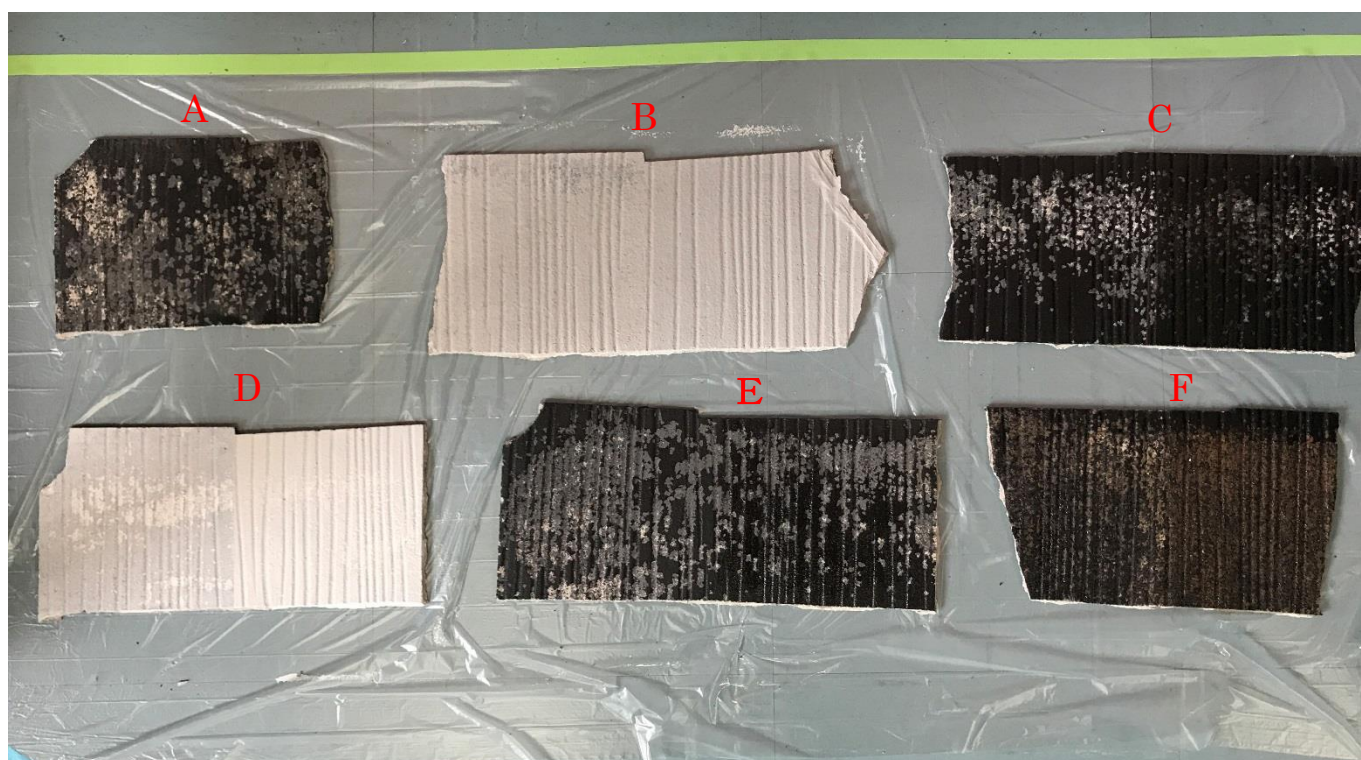
(マイティ万能エポシーラー)



(ファイン浸透造膜シーラー)



(全体画像)



塗装した乾燥は、施工性は1度目よりもローラーの運びが軽く塗りやすい。初回塗装時には吸いこんでしまっていた浸透タイプのもも、2度塗の時にはご覧いただけるように、マイティー万能シーラーは塗った感じがあり、他のものについても画像でも確認いただけるように、色やツヤ感で2度塗されたことがわかる。

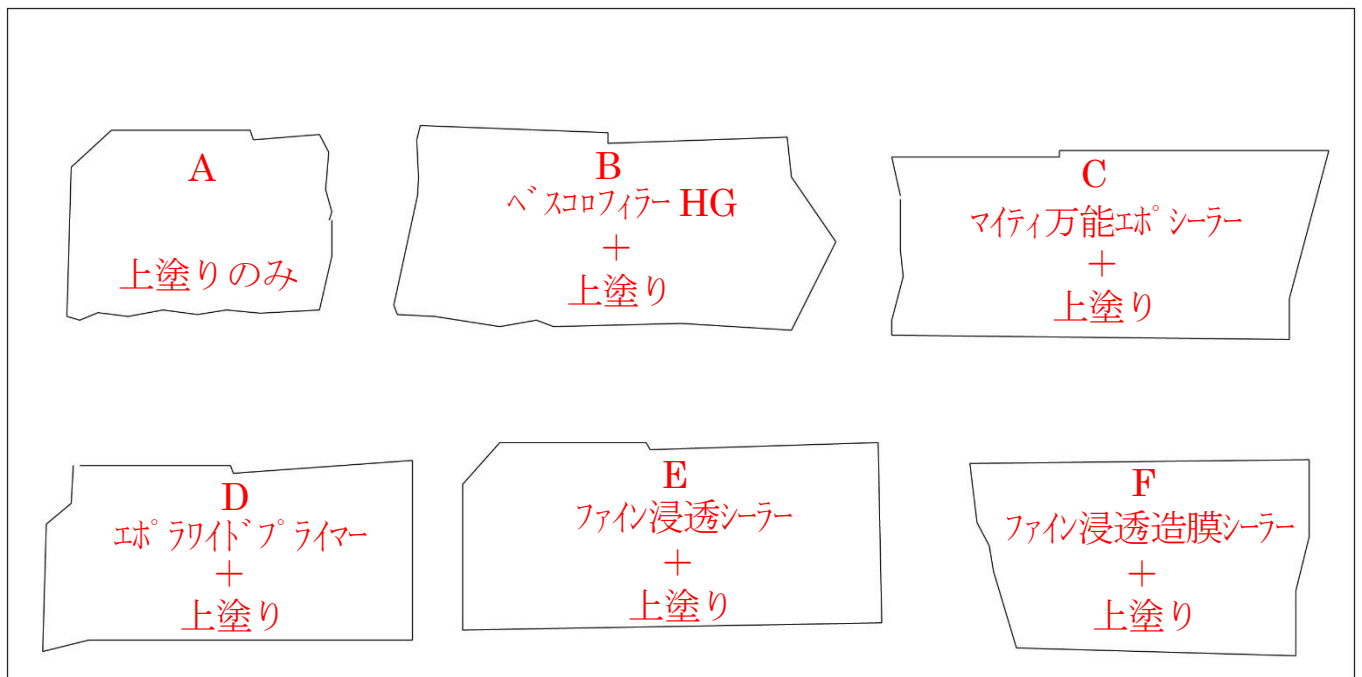
2017.08.04 上塗り材料を塗布

各試験体に、上塗り塗料として大日本塗料/シリコンルーベン二液 EXTRA のコーヒープラウン色を塗布

(全体画像)



(6つのエリア分け詳細)

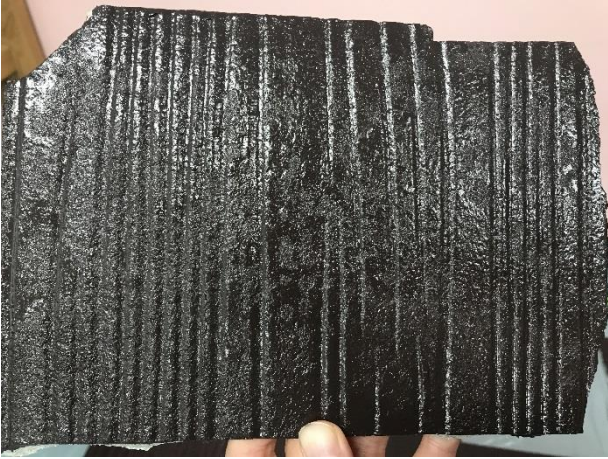


※Aは下塗りなしで、直接上塗りした場合の仕上がり感を確認する。

【比較検証】

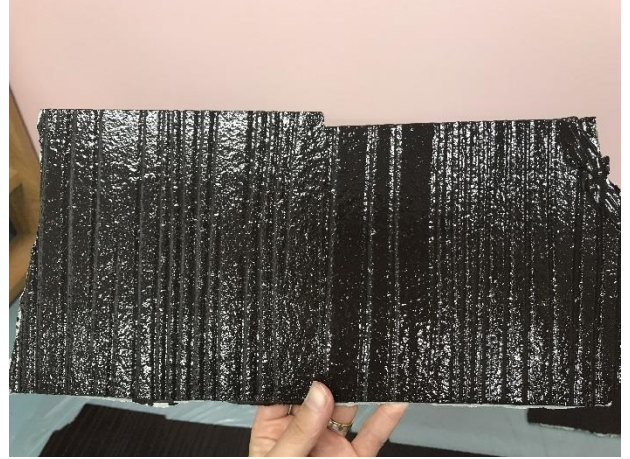
6種類の試験体のツヤ感を比較する

A.上塗りのみ



下地が傷んで素地が出ている部分と、旧塗膜が残っている部分とのツヤムラが顕著。旧塗膜がない部分とある部分との凹凸もはっきりしている。

B.ベスコロフィラーHG+上塗り



全体的にツヤあり。下地の状態での塗料の吸込みの差も、1度塗りと2度塗りで仕上がりの差もそう変わらないくらいのツヤ感。

C.マイティ万能エポシーラー+上塗り



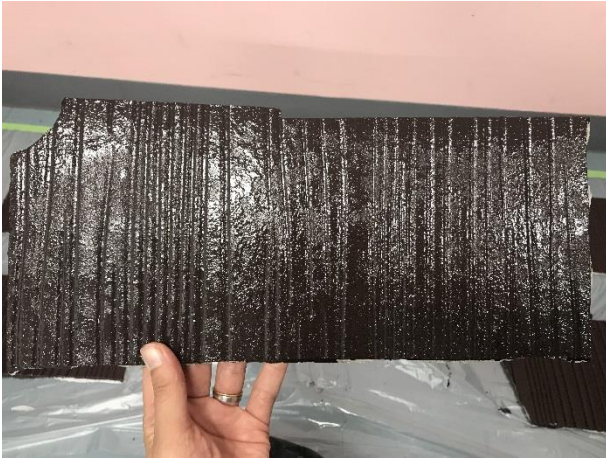
2度塗りの右側半分はまだいいが、下地の状態でのツヤの違いが顕著。凹凸もあり。

D.エポラワイドプライマー+上塗り



ベスコロフィラー同様、下地の傷みはあまりひろわないが、1度塗りと2度塗りのツヤ感の違いは出ている。

E. ファイン浸透シーラー+上塗り



下地の状態でのツヤの違いが顕著。凹凸もあり。

F. ファイン浸透総膜シーラー+上塗り



ファイン浸透シーラーとの違いは、下地の傷み具合に多少差があっても、全体的にカバーするような印象。「造膜」というだけあってか、凹凸感もひろってはいない。が、旧塗膜ある部分とない部分でのツヤ感には差があった。

【まとめ】

こちらの地域では、トタン屋根が多く、コロニアル用下塗り材を使う頻度はそう多くはないが、だからこそいざ使うとなると「どの材料にしようか？」という問い合わせを頂戴することが多く、今回のテストを行った。結果としては、マイティ万能エポシーラーやファイン浸透シーラーといった浸透性のものよりは、ベスコロフィラーHGやエポラワイドプライマーなど造膜タイプの方が仕上がりのツヤ感は良かった。

以前、実際の現場でファイン浸透造膜シーラーを使い、ツヤ感もキレイに仕上がったところを見たが、その職人さんは、毛丈が長めのローラーでたっぷりつけるように施工するのがコツと言っていたため、もしかすると今回は、塗布量が足りていないという部分もあるかもしれない。

今回の結果をみると、屋根用や壁用など同じメーカーさんの商品でそろえるのもいいが、下地やその状況に応じて使い分けることが有効的だろう。今回は施工後すぐの仕上がりについて検証したが、今後は碁盤目試験にて下地との密着についても検証したい。